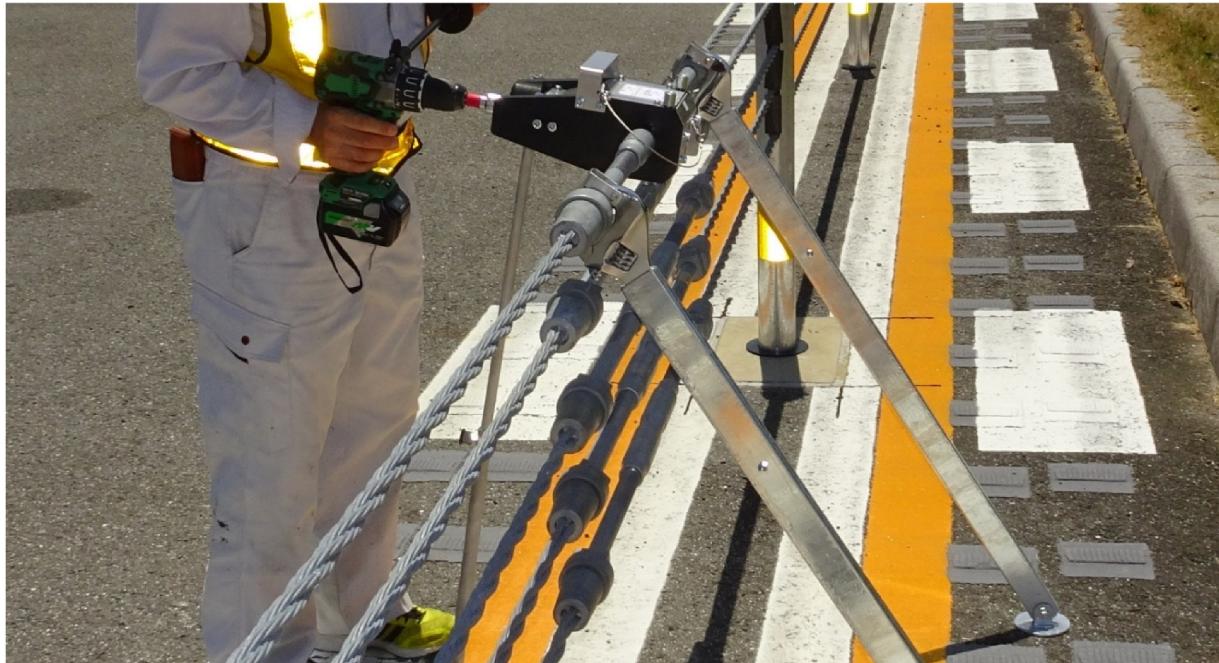


# ターンバックル回転装置(TRG)

Turnbuckle Rotating Gear

【 充電式電動ドリルを使って、ワイヤロープ式防護柵の  
ターンバックル締付け、解放作業が楽にできます 】



## Point!

- ★ ターンバックル回転作業は、**約20秒**で完了
- ★ 齒車の組合せにより、電動ドリルの回転力が**3倍**  
(写真のセットだと410N·mの回転力)
- ★ **市販の電動ドリル**が使用可能

## 作業時間の比較（5本／セット当たり）

TRG作業	:	35分／セット
人力作業	:	75分／セット
差	:	▲40分／セット

※ターンバックルの解除・組立に要する時間

# 【ワイヤロープの導入】

## ●高速道路にワイヤロープ式防護柵を導入



暫定供用区間に中央帯にワイヤロープ式防護柵LD種（レーンディバイダ）が設置されました。ワイヤロープ式防護柵は、対向車線へのはみ出し防止と衝突車両への衝撃緩和に有効な防護柵です。

## ●ワイヤロープ式防護柵、設置後の交通事故



松山自動車道に、ワイヤロープ式防護柵が導入されて1年が経過しましたが、対向車線へのはみ出しまもなく、死亡事故も起こっていません。全国を見ると、国土交通省の発表にもありましたら、死亡事故は起こっていません。

# 【ワイヤロープ式防護柵の事故復旧作業】

## 現状



## ターンバックル回転装置 使用



- ①ワイヤロープ延長の200m毎に配置されているターンバックルの内、復旧作業に有効な箇所のターンバックルを開放します。
- ②曲損又は折損した支柱を取替えます。
- ③ターンバックルを締込み、ワイヤロープに所定の張力を導入します。

①から③までの作業は、人力施工で対応しています。特に①と③作業は、高いトルクが必要な作業であることと、過度の反復作業です。その結果、長時間を要し、作業従事者の疲労度も高い状況です。

充電式電動ドリルを使って、ワイヤロープ式防護柵のターンバックル締付け、解放作業が楽にできます！